

平成18年度第4回北海道ブロック協議会 第4回北海道代協常任理事会 議事録

平成19年1月12日(金)pm1:00~5:00
於：北海道厚生年金会館

出席者(34名)

本部副会長	福澤 久	福島	常任理事	小山 和之	苫小牧	札幌環境整備委員長	大西 勝	札幌
本部常任理事	高梨 重勝	函館	常任理事代理	多和 康司	千歳	監事	富谷 哲夫	札幌
会長	向出 明彦	札幌	常任理事	松浦 則雄	函館	監事	羽山 和広	帯広
副会長	長谷部幹夫	旭川	常任理事	松野 裕一	釧路	監事	木下 裕章	小樽
副会長	阿部 實	札幌	常任理事	羽田 武史	帯広	事務局長	末原 正二	札幌
副会長	石岡 憲義	函館	本部組織	伊藤 輝雄	函館	オブザーバー	古宇田 渉	苫小牧
副会長	長谷川 勇	帯広	本部企画環境	高橋 章哲	旭川	オブザーバー	小野 修	函館
副会長	長尾 忠正	釧路	本部地球環境	山田 和樹	帯広	オブザーバー	山吉 行雄	釧路
専務理事	山口 史朗	札幌	本部政治連盟	梅基 伸男	札幌	オブザーバー	大高 喜弘	釧路
常任理事	町野 泰明	札幌	本部年金基金	見上 峰夫	札幌	事務局員	藤田 和代	札幌
常任理事	工藤 龍蔵	室蘭	札幌副支部長	佐々木雅之	札幌			
常任理事	鈴木 雅裕	小樽	札幌副支部長	坂本 和正	札幌			

司 会 専務理事 山口史朗

1. 開会の辞(長谷部幹夫)

2. 会長挨拶(向出明彦)

・保険会社の不払い問題、銀行の保険販売全面解禁、郵政民営化による郵便局での保険販売等々の業界環境の中、代協会員は専門知識の研鑽、倫理の確立、消費者の目線で確かな仕事をする事を期待されている。

3. 日本代協副会長挨拶(福澤 久)

・好景気の中身を見ると地域格差が数字にて現れている。また業界ではグローバル化の中の環境整備が進められている。

・日本代協は組織の法人化を始め、さまざまな問題を提起し、対処の方策を探っている。昨今の業界環境の中では「疾風に勁草を知る」のたとえから真のプロ代理店こそ行きぬくことが出来る、これを問われる年ではないかと思う。

4. 日本代協常任理事挨拶(高梨重勝)

・保険会社の保険金不払い、保険料の取りすぎ問題の中で、代理店の対応においては二極化が進むのではないかと。代協会員はこれに臆することなく、チャンスと捕らえ今後の代協作りをするべきだ。

5. 倫理綱領の朗読(鈴木雅裕)

6. 議長選出

- ・議長には羽田武史常任理事(帯広)が立候補し、承認を得た。
- ・当会議の議決が成立する出席人数であることが、専務理事より報告された。
- ・署名人には町野泰明(札幌)、富谷哲夫(札幌)の両氏が選出され承認を得た。
- ・オブザーバーが意見を発言することを許された。

7. 議事

[I]. 報告事項

1. 各支部報告

【札幌支部】

- ・タオルボランティア運動期間は11月1日より1ヶ月間とし、1,304本が集まり6箇所の施設に配分した。
- ・DRP社に9店が会員として登録をしていただいた。会員の増強とも合わせて今後も推進していく。

【室蘭支部】

- ・タオルボランティアは3月まで継続しその後施設に届けたい。
- ・セミナーの集まりが悪く、2会員の増強は厳しいが努力する。

【旭川支部】

- ・会員80店を目標としている。タオルボランティアも継続している。
- ・1月22日支部セミナー、新年交礼会を開催する。
- ・消費者協会との懇談会も調整中

【小樽支部】

- ・2月に青年部会を立ち上げたい。その折に代理店賠償保険の講習会を企画したい。

【苫小牧支部】

- ・支部新年会を予定、消費者協会との懇談会を打診中、ドライブレコーダーの普及に努め富士通社に打診している。他
- ・11月2日に公開セミナーを開催した。その後3名の会員増強となった。

【函館支部】

- ・11月22日、第6回消費者協会との懇談会を開催した。
- ・タオルボランティアは1月中までとしている。現在674本が集まり、5箇所から申し入れがある。
- ・1名が新会員となっているが5会員が目標
- ・2月2日合同新年会を開催する。その折認定保険代理士10名を授与する

【釧路支部】

- ・副支部長が急逝した。
- ・11月13日新聞に地震保険をアピールする広告を掲載した。
- ・新年交礼会を予定している。
- ・各界のネットワークが構築された。
- ・目標3名であるが既に2名が新会員となり、この分で行くと4から5名の新会員が期待できる。

【帯広支部】

- ・タオルボランティアでは500本が集まり、12月5日施設に寄贈した。
- ・12月9日十勝毎日新聞に代協の活動をPRする広告を掲載した。
- ・1月17日新年交礼会を開催する。
- ・2名の増強が出来たが60名の目標までにあと4名となっている。

2. 日本代協常任理事会報告(高梨重勝)

12月7日常任理事会開催

議事録が事務局にありますので希望の方は取り寄せてください。

質問イ、認定保険代理士の立ち上げについて

ー静岡代協より始まっているが、本部では各単協の推移を見て考える

ロ、経営品質とは

ー代理店賠償の加入、消費者への啓蒙としてバイヤーズガイドの配布など

ハ、銀行窓販全面解禁について

ー代協としては反対しているが、官庁のヒヤリングに対して損協は欠席しているということは賛成の立場ではないか

3. 日本代協委員会報告

(Ⅰ) 企画環境委員会(高橋章哲)

会議資料参照

(Ⅱ) 教育委員会(山崎善仁)

1、平成19年1月1日付で北海道代協では第7期認定保険代理士が36名誕生した。

各支部にて認定証、バッジを本人に渡してほしい。

2、第10期の保険大学の募集は1月からです。

募集ポスターは保険会社各社にも貼ってもらうようお願いしてください。

3、募集目標は自主目標で35名としていただきたい。

4、「保険代理士のポスター」と「保険代理士のいる店」を各代理店事務所に貼ってください。

5、保険大学開催日

第9期2回目 4月17日(火)

第8期4回目 4月18日(水)試験があります

会場は札幌ロイヤルホテル

6、認定保険代理士の更新研修

第5期1回目 7月5日(木)

第2期2回目 7月6日(金)

会場は札幌ロイヤルホテル

(Ⅲ) 組織委員会(伊藤輝雄)

本部において11月9日(木)第3回組織委員会が開かれた。資料掲載の議事録参照

(Ⅳ) 地球環境委員会(山田和樹)

チーム・マイナス6%運動 会議資料参照

(Ⅴ) 国民年金基金推進委員会(見上峰夫)

特になし

(VI) 政治連盟政策委員会(梅基伸男)

今年7月に参議院選挙があり、今後に要請がある。

[II]. 審議事項

(1) 法人化について

イ、現状認識について

・長谷部幹夫(一般社団法人設立準備委員会 委員長)より委員会進捗状況の報告があった。
北海道代協法人化通信、No.1、及びNo.2を参照

・その他補記

a、日本代協では「公益法人」を目指している。

b、各単協の準備状況は85%位に委員会が設立されている。

c、新日本代協の構成員、会費等今後の協議となる。

ロ、なぜ法人化にしなければならないか

・歴史上の流れより是正

・社会の認知を得る。

(2) 慶弔規定

イ、北海道代協定款には慶弔規定がないので規定を盛り込む----決定事項

ロ、正副会長にてたたき台の素案を作り、次回に提案する。

(3) 代理士会設立について

イ、各単協の状況を見て今後検討し、継続協議事項とする。

(4) ドライブレコーダーについて

イ、検討委員会を設立し今後の理事会で答申していく----決定事項

・委員には小山和之(苫小牧)、町野泰明(札幌)、鈴木雅裕(小樽)、羽田武史(帯広)推薦され承認を得た。

(5) バイヤーズガイドの取り扱いについて

イ、バイヤーズガイドの活用方法、購入負担等を明らかにするよう日本代協に要請する。-決定事項

8. 閉会の辞(長尾忠正)

